千里山地区乗合交通ニュースレター

たけのこ

Vol 2

令和４年３月１日発行
発行：吹田市土木部総務交通室

令和４年 2 月 17 日より

すいすいバスの
情報はこちら⇒

吹田市コミュニティバス たけのこルート







試験運行が始まりました！





２月17日の試験運行初日、コロナ禍でありましたが、「たけのこルート」の試験運行バスの関係者や市民の方が集まり、寒い中でありましたが、青く晴れ渡ったいい天気の中、無事スタートを切りました。

８時３分の第１便には１９人が利用され、初日は138人の利用がありました。初日は「まずは一度、乗ってみた」という利用者の方が多かったようです。

「乗ってみた」から「いつも利用している」と言ってもらえる、地域の足となるよう皆さんと育てていきたいと思います。

ご利用をお待ちしています。





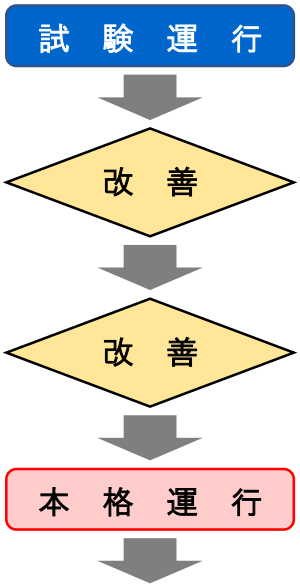
●試験運行から本格運行までの道のり

2月17日に走り始めた千里山地域のすいすいバス「たけのこルート」。本格運行に向けての第一歩をまだ踏み出したにすぎません。

●「試験運行」で、まだ本格運行ではありません。

試験運行は，「バスが本格運行してすぐに廃止」とならないように、バスが継続して運行していくことができるかを検証するためのものです。期間としては２年間を一つの区切りとしていますが、２年後にすぐに運行判断を行うのかというとそういうわけではなく、右図のように運行継続について検討を行っていきます。

試験運行は、この「たけのこルート」が独り立ちするまでの育成期間でもあり、皆さんの利用が一番の栄養分となります。



●本格運行への判断は・・・？

本格運行の基準としては、先行して運行している千里丘地域の基準が一つの目安となります。

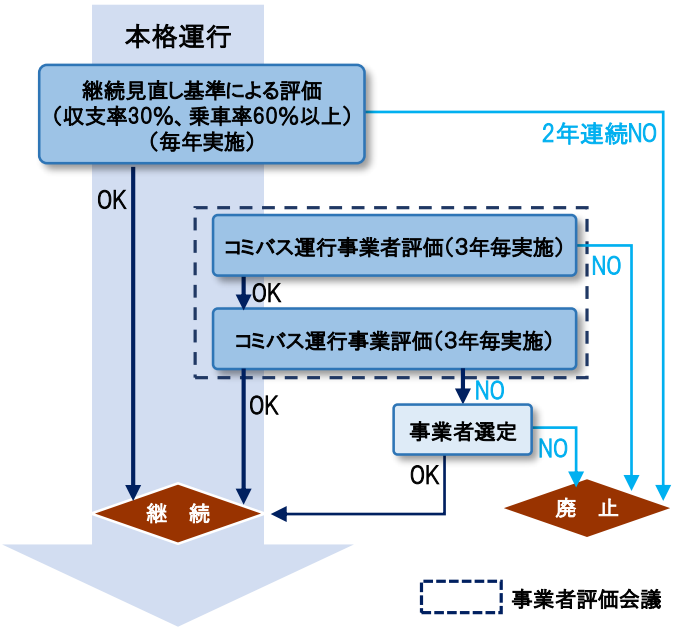
※千里丘地域の運行継続基準

収支率：　３０％
収支率＝運行収入（運賃や車外広告料等）÷ 運行経費等（人件費や燃料費、事務費等）
乗車率：　６０％
乗車率＝１便あたりの利用者数 ÷ バスの座席数

●本格運行となっても・・・

右図は千里丘地域の運行継続基準です。本格運行になったからといって、この先もずっとバスが運行される保証があるわけではありません。継続運行についての検証が行われます。

単に収支率や乗車率で判断するのではなく、改善を行いながら進めていきます。



【例　すいすいバス（千里丘地域）の運行継続基準】

●利用状況や利用意向等の調査を予定しています

今後、より良いものにしていくために、バスの利用状況について把握するため、バス路線の地域住民やバス利用者の方にアンケート等を実施していく予定です。その際はご協力をお願いします。